



古都っ子だより

2021年 3月22日号
岡山市立古都小学校

＜心豊かにたくましく生きる児童の育成＞ 元気な子 やさしい子 考える子

ご卒業 おめでとうございます



3月2日に「6年生を送る会」が開かれました。5年生が中心となって企画し、全学年が6年生へのエールを込めて、出し物などの準備を進めました。本当によくがんばりました。自分たちで計画して、学校全体を動かして、大きな会を成功させることは、苦しいことや大変なことがたくさんあったことと思います。5年生のみなさんが体験したその苦勞が、来月には立派な6年生にしてくれます。

1～4年生の子どもたちが心を込めて準備したプレゼントや掲示物、出し物からは、6年生への感謝の気持ちがしっかりと伝わってきました。コロナウイルス感染予防のため、全校児童が会場に集まって開催することはできませんでしたが、在校生からの感謝の気持ちで体育館全体が温かい雰囲気になりました。このようなすばらしい会ができる古都の子どもたちの底力と熱意に感心しました。6年生は、各学年からの心のこもった出し物に感動していました。



「6年生を送る会」を通して思ったことは、「今年の6年生もしっかりと古都小学校の伝統を引き継ぎ、そして5年生にしっかりとバトンを渡すことができた。」ということです。5年生の子どもたちの態度も変わってきています。『お手本』があるということは、進むべき道が見えて、子どもたちにも分かりやすいのでしょう。

これからもずっと『お手本』のある学校であり続けたいと思います。

いよいよ明日は卒業式。6年生のみなさん、今までありがとう！

～ 校内風景 … こんなことがありました ～

【6年 卒業プロジェクト】

「お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えよう」と、6年生が計画した卒業プロジェクト。その一環として、在校生のみんなが、6年生と一緒に運動場で楽しく遊びました。1年生は、「けいどろ」。優しく相手をしてくれる6年生に大満足でした。



また、「聞いてほしい、この思い」と題して、校長室でスピーチ大会も行いました。この1年間で経験した大切な思い出を聞かせてくれました。学習発表会や運動会の練習で自信を無くしそうになったとき、応援してくれた家族や友人、担任の先生の一言がきっかけで、練習を乗り切れた経験など、これから進む中学校生活で大切にしてほしい宝物ばかりでした。



17日には、毎日、古都小学校の子どもたちの安全を見守ってくださっている、青パト見守り隊のみなさんに、感謝の気持ちをお伝えする会を行いました。

青パト見守り隊の皆様、一年間、ありがとうございました。

【2/4 4年「備前焼体験」】

社会科で学習した内容と関連させて、学校近くの丸二陶材さんにお世話になり、備前焼体験を行いました。手本を見せていただいた際、あっという間に土を操り器を作る職人の技に、児童からは歓声が上がりました。いざ取り組んでみると、土の厚さが均等でなかったり、器の表面がでこぼこしたりと、作品作りの難しさを味わいました。やっと完成した思い思いの作品は、3月11日、児童の手に返ってきました。



また、岡山県学校給食会のご厚意で、備前焼の器をお借りし、給食をいただきました。いつも食べているおいしい給食ですが、器を変えることで、また一つグレードアップした給食になりました。

岡山県の大切な伝統工芸である備前焼について学ぶだけでなく、実際に職人の方の技術を見たり、作品作りに取り組んだり、さらに、その器で食事をしたりする経験を通して、ふるさとの自慢を大切に思う気持ちだけでなく、守り、広めようとする態度につながればと考えています。

